

2022
7月号
Vol.394



～目次～

- | | | | |
|--|------|--|-----|
| ◆ 石狩の「食」を繋ぐ次世代サポーターづくり
第1回食育事業～田植え・ブロッコリー定植編～ | …2・3 | ◆ 営農サポート事業実証試験を実施中・進捗
状況報告／グリーンアスパラ共催開始 | …9 |
| ◆ 私のお気に入りシリーズ 第3弾 | …4・5 | ◆ 組合員の投稿コーナー | …10 |
| ◆ 農業の宝☆げんきびと紹介 Vol.15 | …6・7 | ◆ Information
各種情報／理事会だより／おくやみ | …11 |
| ◆ どれのさと限定おにぎりの極み with おにぎり専門店ひとつぶ／
ゴールデンウィーク in どれのさと＆苗物市開催 | …8 | ◆ エキノコックスにご用心 | …12 |

表紙：石狩地区 美登位 堀田 恵一 さん (関連記事6-7ページ)

石狩の食を繋ぐ

次世代サポートづくり

第1回食育事業 田植え・ ブロッコリー定植編

＼本店にて石狩の農業全般・水稻生産に係る授業を行いました／



Schedule

- 10:00 本店2階大会議室にて石狩の農業全般・水稻生産に係る授業
- 10:45 石井浩二さん圃場にて 水稻の植付体験
- 12:30 昼食
- 13:40 成田和彦さん圃場にてブロッコリーの定植体験
- 15:30 地物市場とれのさとにて地産地消の取組や特産物の試食
- 16:15 終了

ブロッコリー畑への
散水の様子も
見学しました。

＼真剣な眼差し／



ブロッコリー部会の
成田和彦会長と
美智子さんご夫妻



石井さんの
圃場で
田植え体験



最後に地物市場とれのさとで平松農産振興係長から地産地消の取り組みについての説明を行いました☆



楽しい昼食タイム



作業の前に、成田会長からブロッコリーの品種紹介と育苗から収穫までの流れを説明し、「石狩の昼夜の寒暖差のおかげで、甘みが強いブロッコリーが育つ。風が強いおかげで病気にもなりにくい。」と話しました。その後、学生達は定植作業を行い、小さな苗を大切そうに持ちながら「カワイイ!」「すごく小さい!」「これが大きく育つんだね。大事に食べよう!」などと話し、貴重な体験に目を輝かせ取り組んでいました。

その後、地物市場とれのさとへ移動し、平松農産振興係について説明を行い、ミニソフトクリームの試食と店内見学の後、充実した顔つきで学生達は帰路につきました。

まず始めに、当JA本店大會議室で橋本営農部長が石狩市農業の概要や特徴を説明し、続いて米麦振興会の石井浩二副会長（石狩地区北生振）が実際の稲を用いながら水稻生産について説明しました。その後、石井さんの圃場に移動して田植え体験をしました。当日は天候にも恵まれ、参加者は田植機に乗って苗補充作業や苗箱運び、苗箱積みなどを経験し、石井さんや職員への質問も弾み、非常に楽しそうに作業していました。

昼食には、地元食材を使用した「とれのさと特製石狩産弁当」を用意し、石狩産食材を堪能してもらいました。午後からは、当JAブロッコリー部会の成田和彦会長（石狩地区高岡）の圃場で、ブロッコリー定植体験を行いました。

作業の前に、成田会長からブロッコリーの品種紹介と育苗から収穫までの流れを説明し、「石狩の昼夜の寒暖差のおかげで、甘みが強いブロッコリーが育つ。風が強いおかげで病気にもなりにくい。」と話しました。

その後、学生達は定植作業を行い、小さな苗を大切そうに持ちながら「カワイイ!」「すごく小さい!」「これが大きく育つんだね。大事に食べよう!」などと話し、貴重な体験に目を輝かせ取り組んでいました。

その後、地物市場とれのさとへ移動し、平松農産振興係について説明を行い、ミニソフトクリームの試食と店内見学の後、充実した顔つきで学生達は帰路につきました。

5月19日、石狩振興局主催門学校の製菓・調理師科1年生42名が当JAを訪れました。これは、石狩管内の農産物について学ぶために、今年度全5回予定している食育事業のうちの記念すべき第1回目を考慮して、長期的な目線でシェフや飲食店勤務を志す次世代を担う若い世代に地場食材への理解を深めてもらうのがねらいです。事業を通じて地産地消の重要性や農畜産物等の特徴を伝え、いざれ字達が食材を探す立場になつた際に石狩地域の農畜産物等を使ってもらえるよう、今から知名度向上や将来的な消費拡大に繋げることを目的としています。

まず始めに、当JA本店大會議室で橋本営農部長が石狩市農業の概要や特徴を説明し、副会長（石狩地区北生振）が実際の稲を用いながら水稻生産について説明しました。その後、石井さんの圃場に移動して田植え体験をしました。当日は天候にも恵まれ、参加者は田植機に乗って苗補充作業や苗箱運び、苗箱積みなどを経験し、石井さんや職員への質問も弾み、非常に楽ししそうに作業していました。

昼食には、地元食材を使用した「とれのさと特製石狩産弁当」を用意し、石狩産食材を堪能してもらいました。午後からは、当JAブロッコリー部会の成田和彦会長（石狩地区高岡）の圃場で、ブロッコリー定植体験を行いました。

作業の前に、成田会長からブロッコリーの品種紹介と育苗から収穫までの流れを説明し、「石狩の昼夜の寒暖差のおかげで、甘みが強いブロッコリーが育つ。風が強いおかげで病気にもなりにくい。」と話しました。

その後、学生達は定植作業を行い、小さな苗を大切そうに持ちながら「カワイイ!」「すごく小さい!」「これが大きく育つんだね。大事に食べよう!」などと話し、貴重な体験に目を輝かせ取り組んでいました。

その後、地物市場とれのさとへ移動し、平松農産振興係について説明を行い、ミニソフトクリームの試食と店内見学の後、充実した顔つきで学生達は帰路につきました。

5月19日、石狩振興局主催門学校の製菓・調理師科1年生42名が当JAを訪れました。これは、石狩管内の農産物について学ぶために、今年度全5回予定している食育事業のうちの記念すべき第1回目を考慮して、長期的な目線でシェフや飲食店勤務を志す次世代を担う若い世代に地場食材への理解を深めてもらうのがねらいです。事業を通じて地産地消の重要性や農畜産物等の特徴を伝え、いざれ字達が食材を探す立場になつた際に石狩地域の農畜産物等を使ってもらえるよう、今から知名度向上や将来的な消費拡大に繋げることを目的としています。

まず始めに、当JA本店大會議室で橋本営農部長が石狩市農業の概要や特徴を説明し、副会長（石狩地区北生振）が実際の稲を用いながら水稻生産について説明しました。その後、石井さんの圃場に移動して田植え体験をしました。当日は天候にも恵まれ、参加者は田植機に乗って苗補充作業や苗箱運び、苗箱積みなどを経験し、石井さんや職員への質問も弾み、非常に楽ししそうに作業していました。

昼食には、地元食材を使用した「とれのさと特製石狩産弁当」を用意し、石狩産食材を堪能してもらいました。午後からは、当JAブロッコリー部会の成田和彦会長（石狩地区高岡）の圃場で、ブロッコリー定植体験を行いました。

作業の前に、成田会長からブロッコリーの品種紹介と育苗から収穫までの流れを説明し、「石狩の昼夜の寒暖差のおかげで、甘みが強いブロッコリーが育つ。風が強いおかげで病気にもなりにくい。」と話しました。

その後、学生達は定植作業を行い、小さな苗を大切そうに持ちながら「カワイイ!」「すごく小さい!」「これが大きく育つんだね。大事に食べよう!」などと話し、貴重な体験に目を輝かせ取り組んでいました。

その後、地物市場とれのさとへ移動し、平松農産振興係について説明を行い、ミニソフトクリームの試食と店内見学の後、充実した顔つきで学生達は帰路につきました。

5月19日、石狩振興局主催門学校の製菓・調理師科1年生42名が当JAを訪れました。これは、石狩管内の農産物について学ぶために、今年度全5回予定している食育事業のうちの記念すべき第1回目を考慮して、長期的な目線でシェフや飲食店勤務を志す次世代を担う若い世代に地場食材への理解を深めてもらうのがねらいです。事業を通じて地産地消の重要性や農畜産物等の特徴を伝え、いざれ字達が食材を探す立場になつた際に石狩地域の農畜産物等を使ってもらえるよう、今から知名度向上や将来的な消費拡大に繋げることを目的としています。

まず始めに、当JA本店大會議室で橋本営農部長が石狩市農業の概要や特徴を説明し、副会長（石狩地区北生振）が実際の稲を用いながら水稻生産について説明しました。その後、石井さんの圃場に移動して田植え体験をしました。当日は天候にも恵まれ、参加者は田植機に乗って苗補充作業や苗箱運び、苗箱積みなどを経験し、石井さんや職員への質問も弾み、非常に楽ししそうに作業っていました。

昼食には、地元食材を使用した「とれのさと特製石狩産弁当」を用意し、石狩産食材を堪能してもらいました。午後からは、当JAブロッコリー部会の成田和彦会長（石狩地区高岡）の圃場で、ブロッコリー定植体験を行いました。

作業の前に、成田会長からブロッコリーの品種紹介と育苗から収穫までの流れを説明し、「石狩の昼夜の寒暖差のおかげで、甘みが強いブロッコリーが育つ。風が強いおかげで病気にもなりにくい。」と話しました。

その後、学生達は定植作業を行い、小さな苗を大切そうに持ちながら「カワイイ!」「すごく小さい!」「これが大きく育つんだね。大事に食べよう!」などと話し、貴重な体験に目を輝かせ取り組んでいました。

その後、地物市場とれのさとへ移動し、平松農産振興係について説明を行い、ミニソフトクリームの試食と店内見学の後、充実した顔つきで学生達は帰路につきました。

★ アート刻書

特徴

展示会を見に行った際に刻書芸術の大野先生と出会い、70歳頃から習い始めて資格を取得したそうです。描く文字にピッタリなイメージの板を探す所から創作はスタートします。板が見つかると次はカンナでキレイに削り、字体を考えて文字を板に写し書き、その文字を彫って、上から色を塗るという工程を経て、一つの作品が出来上がります。沢山の手間と時間をかけ、想いがたっぷり詰まった刻書です。

ご自宅の玄関先で
お客様をお出迎え

応募受付中

『私の気に入りシリーズ』では、組合員の皆さんからの応募も受け付けています。
ジャンル、自薦他薦を問いませんので『お気に入りのもの紹介しても良いよ!』

『あの方はこういうものに詳しいよ』という情報(例:映画、本、音楽、車、バイク、スポーツ、
スイーツ、雑貨、お気に入りの写真など何でもOK!)を

本店総務課【TEL:0133-66-3321】までお気軽にご連絡ください。
皆さまのご協力をお待ちしていますm(_)_m



一番のお気に入り『七福神』

お家の中はス
テキな作品で
いっぱい☆

私の // My Favorites

お気に入りシリーズ

第3弾

このコーナーでは、皆さん普段から大切にしている物やお気に入りの品、
こだわりの逸品など思い入れがあるものをさまざまなジャンルでご紹介していきます。

山内 克彦さん(石狩地区 美登位)



トヨタ DYNA (昭和59年に新車で購入)

アルファベット
のみの
クラシックな
ロゴデザイン

特徴

「このトラックといえば山内さん!」というイメージが皆さん付いているのでは?
昭和59年から約40年間、米や麦出し、資材の購入の際に大活躍しています。走行距離は約15万キロで長く大切に扱っていて、今も現役で使用中☆

吉田 裕行さん(生振地区 第1組合)



特徴

ホームセンターでコンパネを3~4枚購入し、自宅で裁断し2日ほどで製作しました。
工具箱の中には整備用の工具を収納し、外側にはスプレー類を置くことができるよう設計しました。また、小回りの効くタイヤを付けたことによって、移動が大変スムーズです。

池端 優さん(花畔地区 樽川)

トラクター (クボタ M5950DT 昭和56年式)

特徴

就農して10年ほど経ち、亡き祖父が残したトラクターも最後の1台となりました。
メーカーから入れ替えを勧められる事もありましたが、子どもの頃に祖父と一緒に乗った最後のトラクターは今も現役です。いろいろと不具合や故障箇所もあるけれど、動かなくなるその日まで大切に使い続けたい逸品です。



堀田 恵一さん(66歳)
石狩地区 美登位

今月の表紙は

農家を始めたきっかけは?

先祖が富山県西砺波郡水島村から石狩へ入植して、私が5代目になるよ。親は身体が弱かったから病院代を稼ぐのもあって、中学卒業と同時に実家の農家を継いだよ。勉強したくなかったしね(笑)。だからもう50年以上やっていることになるね。

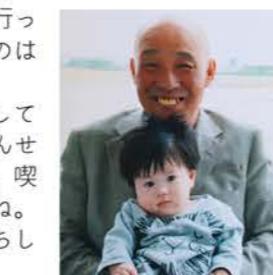
農業以外のお仕事は?

冬期間の農閑期には、運送屋や除雪作業やら色々なことをしていたね。若い頃は4Hクラブや農協青年部にも入っていて、その縁で先輩だった青木恒夫さんに誘ってもらって25年位前から麦乾センターで働くことになったんだよね。15年位前からは、母親が介護が必要な状態になってしまって、その頃は介護施設に空きがなくて自宅で面倒をみるとしたんだ。昼間は農業、夜は麦乾センターで働かせてもらって、早朝には家に帰ってご飯を作るという生活だね。色々な仕事をしてきたけど、苦労とか大変なんて思った事は一度もないよ。そんなこと思っていたら農業はできなかったね。



昔、准組だよりでも紹介したことがある「カボチャようかん」について教えてください。

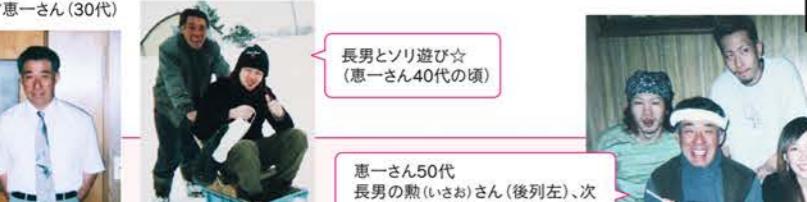
最初は南瓜部会の有志で加工品を作ろうと話し合って、23歳の時に初めて保健所に申請しに行つたんだけど、なかなか申請が通らなくてね。何度も通って、結局、保健所の許可が下りたのは30歳だったんだけど、その間に1人抜け、2人抜け…残ったのは自分だけ(笑)。敷地内にカボチャようかんを作る加工所も作って、品種や配合を変えながら試作を繰り返して商品化したんだよね。12~6月の農閑期に製造していたけど、カボチャを裏ごしするのがなんせ大変で。寝ないで作ってたね。一度に沢山作れないから個数限定でAコーポやさとらんど、喫茶店などで販売してもらっていたよ。大通りのオータムフェスタに出店したこと也有ったね。本州からも注文があったけど、甘味料や防腐剤を使っていないから要冷蔵で2日しか日持ちしないで、仕方なくお断りしていたよ。



元気の源は?

たまに遊びに来てくれる孫達の顔を見ることかな。孫が来た時には、泊まってみんなのご飯支度なんかもしてくれるんだ。うちの家は、昔から手の空いてる者が働けという感じで育ってきたから、家族も当たり前のようにやってくれてるよね。

【記事担当: 中澤・三島・袴田】



長男の一人息子と(1歳頃)

お孫さんからのお手紙はいつも見えるように飾っています。

作っている農産物

春小麦、馬鈴薯、南瓜、とうもろこし、人参、きゅうり、ミニトマト、ナス、枝豆など

▽1993年6月号の表紙 37歳の頃 /



29年後



農業へのこだわり・気をついていること

農作物は、直接お客様の口に入るものだから、やっぱり減農薬に心がけているよ。安心安全が1番だからね。

趣味

釣り(投げ釣り・船釣り・岩釣りなど全般)、バイクいじり(お酒を飲みながらニヤニヤしてみたりね☆)

思い出の写 真のコーナー

末っ子で長女の美喜(みき)さんの結納



スクスク育つように毎年飾る鯉のぼりの前で家族大集合[その1]



お母さんの笑子(えみこ)さん(91歳)
今年から週3でデイサービスに通っています。

家族大集合[その2]
3人のお子さん夫婦、孫4人、みんなが集まり笑顔いっぱい

美喜さんの結婚前最後2人釣りで「ピックサイズのアカハラ!獲ったどー!」



2019年の結婚式で美喜さんとご両親



JA ISHIKARI 2022年7月号 6

第76回敬老会



2004年の敬老会でお母さんの笑子(えみこ)さん(70代)最前列右から2番目



新
発
売

これのさと限定

『おにぎりの極み』



地物の野菜を使った
見た目も鮮やかなおにぎり☆
個数限定で販売し、大変人気でした。

おにぎり専門店

『ひとつぶ』

お米の消費拡大と石狩産米のPRを兼ねて、おにぎり専門店『ひとつぶ』とコラボしてオリジナルのおにぎりを発売しました。地物野菜を使用した商品をイベント限定で今後も販売予定！

素材にこだわり、見た目のインパクトもバツグンで素材の美味しさが活かされた「おにぎりの極み」を是非召し上がれ☆

【記事担当..千田】

おにぎり専門店『ひとつぶ』

札幌市中央区で昨年開業したお店です。

日本農業新聞にも取り上げられていたので、ご存じの方も多いかと思いますが、オーナーは元農協観光職員という経歴の持ち主。農家やJA、JAグループのために何かしたいという想いからおにぎり専門店を開設し、「農業を応援しチャレンジする気持ちで頑張っていきたい」と情熱を持ってお仕事をされています。

Instagram



Twitter



◆◆◆ 石狩産米を使用したおにぎり★
右から
石狩ながいも＆アサツキと炙りぶた
半熟たまごと石狩アサツキ炒飯



ゴールデンウィーク & 苗物市 開催 in これのさと



特設屋台!!

4月29日～5月8日にゴルデンウイークイベントを行いました。お米やお肉の特価販売、特設屋台で石狩産の冷凍とうきびを使用した「ゆでとうきび」「焼きとうきび」、とのさとオリジナル「やきとり弁当」「ステーキ丼」を販売しました。屋台の営業は6日間でしたが、とうきびは約1,500本、弁当類は約4,000食と多くのお客さまにお買い求めいただき、大変賑わいのあるイベントとなりました。



▼中長茄子



▲中玉トマト

また、5月13日から毎年恒例の苗物市を開催し、ミニトマトをはじめ、きゅうりやなす、スイカ、パプリカ、バジル、ゴーヤなど約30種類の野菜苗を取り揃え、連日1,000人を超えるお客様にご来店いただきました。

また、両イベントで販売したオリジナル「おにぎりの極み」は見た目のインパクトも手伝つてか、多くのお客様が購入され喜んでいただきました。

それのさとでは、地元のお米や野菜をたくさん食べていただけるよう、今後もさまざまな商品を開発して、手に取つていただけるよう取り組んでまいります!!

【記事担当..千田】

今月の 進捗状況 報告

宮農サポート事業 実証試験を実施中!!



ラジコンボート▶



農業用ドローン▶

宮農課では生産者の作業負担軽減を目的に、5月17日からラジコンボートでの水稻除草剤防除、5月25日から農業用ドローンでの防除作業を開始しました。ドローン防除は、小麦、水稻、野菜の防除などを予定しており、粒剤、まめつぶ剤の散布も可能です。また、機械オペレーション作業は、耕起、防除などの依頼があり、続々実施しています。作業委託に関する希望や要望等はお気軽に宮農課までご連絡をお願いいたします。

【記事担当..池田】

作業委託の希望・お問い合わせ先

【宮農課(直通)】 担当:葛西・池田

TEL 0133-66-3344

FAX 0133-66-3663

グリーンアスパラ 共撰開始



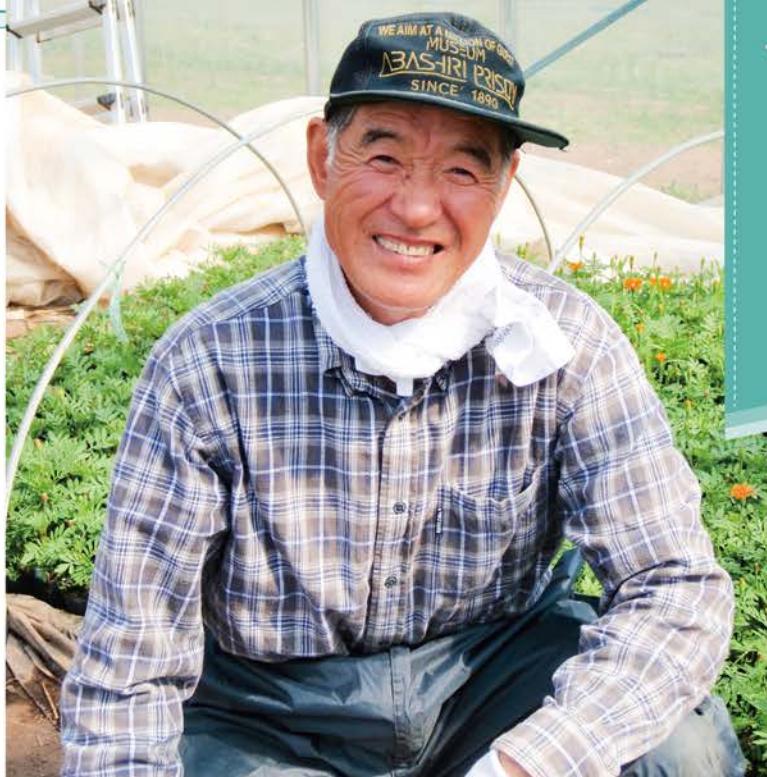
アスパラ共撰は6月中旬までの予定で、主な出荷先は量販店（イートヨーカドー・ホクレンショッピング等）、ゆうパックギフトを中心とした出荷を予定しています。

【記事担当..木村(雄)】

5月10日、グリーンアスパラ共撰をベジタブルファクトリーで開始しました。4月28日に事前実施した現地検討会では、昨年同様に新型コロナウイルス感染症対策で人数を限定してGアスパラ部会役員と青果課職員が石狩、花畔、生振地区を巡回し、ゴーレンデンウィーク期間の天候等を十分考慮した上で共撰開始日を決定しました。

開所式では、中村組合長が「従業員の皆さんにはご自身の体調管理と怪我・事故防止に十分留意していただき、貴重な石狩産グリーンアスパラの厳選しました」と挨拶しました。

組合員の 投稿コーナー



このコーナーでは、組合員の皆さん
から届いた声をお届けします。

追悼 南出農園 春木 弘之 さん

令和4年1月7日、連日の大雪で明けた新年に久々の晴れ間が訪れたその日、南出農園の出荷責任者である春木弘之さんが亡くなられました。81歳でした。

春木さんは、地物市場とのさとの出荷風景の中での大変貴重な方でした。朝7時半には出荷物をもつてどこのさとに到着し、早々に自分自身の商品の配列が終わると次々に訪れる生産者にこやかに声がけするとともに、生振・石狩地区を回り出荷物を積んできたりシエトラックの荷下ろし手伝いを毎日のようにしておられたのです。膝には痛みがあるようで常に膝パットを着けた姿とともに、生産者や職員にとり絶対に忘れられないのが、春木さんのお顔以外の春木さんにお目にかかることはないはずです。

会社を定年退職後に、畔地区でメロンやイチゴの栽培を学ばれたそうで、イチゴについては出荷者の中で常にいちばん最初に出荷されていました。春木さんのイチゴが店頭に並び始め、そんな感じでした。春木さんはいつも元気で常に優しく人に優しく自分に厳しい人でした。



若い頃はよく登山に行っていたそう。
「幼い頃から人に優しく自分に厳しい人でした」
妹さん談

掲載あたり、奥さまの悦子さんにお話を伺ったところ、弘之さんは11月に病気が見つかるまで本当に元気で過ごされていて、秋には例年よりも少し早めに倉庫内をキレイに片付け、農作業について丁寧に書かれた沢山のメモが残っていましたそうです。

いつもとびきりの笑顔で穎やかに話しかけてくださり、周りへの気遣いを欠かさない方でした。定年後、ちいさな農業に携わり、ようやく20年。弘之さんが昨年の夏に植えたイチゴの苗は、奥さまとご親族の皆さんのが引き継ぎ、長い間、石狩市農業を支えていただきありがとうございました。心よりご冥福をお祈りいたします。

【どれのさと出荷者協議会
会長 遊佐宏文 記】

3月下旬、ご自宅にお伺いした際トレードマークの笑顔あふれる遺影を拝して、あまりにも突然で早すぎるとの思いで胸がいっぱいになりました。



7年前にお孫さんと東京の高尾山へ接した人みんなが大好きになってしまう春木さんの笑顔とお人柄☆



▲左から4番目が春木さん

△とれのさと情報 △

イベントスケジュール

日程	イベント内容
7月2日	ななつぼしの日
8月13日～15日	お盆フェア(仏花・切り花フェア)
8月31日	野菜の日
10月1日	三笠高校出張レストラン
10月8日～10日	新米フェア
10月29日～11月6日	漬物野菜即売会
11月12日～13日	長イモ・ごぼう即売会
12月24日～25日	クリスマスフェア
12月26日～30日	歳末感謝祭
1月7日～8日	新春初売りフェア

※イベントの内容・日程は変更になる場合がございますので予めご了承ください

イベント詳細は、
地物市場「とれのさと」へ
お問い合わせください☆

TEL: 0133-73-4500



理事会だより

第4回 定例理事会～令和4年5月20日～

■決議事項■

- 組合員の持分譲渡の承認について
- 令和4年度産米穀の共同計算運営事項(案)について
- 令和4年度産小麦の共同計算運営事項(案)について
- 令和4年度産種子馬鈴薯の共同計算運営事項(案)について
- 建設工事に係る指名競争入札業者の選定について
- コンプライアンス・プログラムの改正について

■報告事項■

- 農産物の出荷販売状況等について
- 余裕金運用状況報告について
- 組合員の異動状況について
- 災害対策計画報告について
- 定期監査の実施について
- 夏期手当の支給について
- 事業取扱高及び事業の実施状況等について
- 米麦乾燥調製施設増設工事に係る進捗状況について

△ 営農課情報 △

スケジュール

日程	内容
7月中旬	組合員全戸訪問
7月1日～10月31日	石狩アグリケーション事業

JAグループ JAグランプリ presents クラウドファンディング

みんなで #国消国産 クッキング

シェアしたくなる 絶品レシピ

みんなで #国消国産検定 実施中!

JAタウンクーポンコード 5,000円分が 抽選で1,000名様に当たる

応募期間 7/1(金)～7/31(日)

¥5,000 COUPON

キャンペーンサイトはこちら

QRコード

◆キャンペーン概要と応募方法について◆
「国消国産」についてどのくらい理解しているか、クイズを出題! 5問以上のクイズに正解し、専用の応募フォームからご応募いただいた方の中から抽選で1,000名様にJA 5,000円クーポンをプレゼント!!

■協議事項■

- 持続可能な北海道農業の確立に関する組織討議について
- J A経営基盤強化について
- J Aコネクトの運用について

おくやみ

生振地区 第1組合 平野ミチさん
享年97歳 令和4年5月24日逝去

生振地区 第5組合 島谷和男さん
享年87歳 令和4年6月9日逝去

謹んでお悔やみ申し上げます。

実は怖い！

エキノコックス症に ご用心!!

最近では、市街地にもしばしば姿を現すキツネ☆

ハイキングやキャンプなどのアウトドアが増えるこの時期は、子育て中のキツネの親子を見かけることも。

見ているだけならば可愛らしいのですが、実は寄生虫病の媒体となる気を付けたい動物もあります。

『キツネはエキノコックスが危ないから近寄らないで!』などと聞いたことはあるけれど、よく分からない人も多いのでは?

道外ではあまり見られない病気ですが、北海道では半世紀以上悩まされてきたのが『エキノコックス症』です。

どんな病気?

エキノコックスという寄生虫が主に肝臓に寄生して起こる病気です。感染してもすぐに症状は出ず、自覚症状が出るまでに数年から十数年かかります。体内に入り込んだ虫卵は消化管の中で包虫へ変化し、血液やリンパの流れに乗って肝臓や脳、肺などへ運ばれます。

病気が進行すると膨満感、おなかの不快感、疲れやすさ、黄疸、咳、痰、けいれん、貧血、意識障害などが現れます。普段の生活には支障がないため、自覚症状が出る頃には悪化していることがほとんどで、無治療状態では90%以上の方が亡くなるという報告もあり、放置すると約半年で腹水が貯留し死に至ると言われています。

キツネや犬などから排泄された糞の中のエキノコックス虫卵に汚染された水、食物、ホコリなどを経口的に摂取した時に寄生が成立します。

例えば、キツネや犬の糞に直接触ったり、汚染された山菜を生で食べたり、沢水やわき水を飲んだりした場合が考えられます。

親虫は体長が3~4mm、卵は直径0.03mmと極めて小さなですが、人から人に感染することはありません。

治療法は?

薬による治療もありますが、根治的な治療は手術で病巣を切除することです。現在では、血液検査等で早期に発見でき、手術によって治癒も可能です。

▼当JA花畔支店付近で
昨年6月に撮影
(キツネの親子)



※北海道では1次検診は市町村が行っており、その結果、感染の可能性があった場合は、北海道が行っている2次検診を受けることになります。

早期発見・治療のためのエキノコックス症検診は?

石狩市では、市民を対象に無料で「血液検査」を実施しています。

対象: 小学3年生以上で5年間検査を受けていない方



無料血液検査: 石狩市内の主な実施医療機関はこれら

医療機関名	住所	電話番号	医療機関名	住所	電話番号
茨戸病院	花川東128-14	0133-74-3011	石狩すずらん内科	花川南7-1	0133-73-7776
鎌田内科クリニック	花川北2-5	0133-74-7121	わがつま小児科	花川南2-2	0133-73-8282
			みき内科クリニック	花川南7-3	0133-75-2525

犬や猫もエキノコックスの幼虫が寄生した野ねずみを食べるとキツネと同じように成虫が寄生することがあるので油断は禁物!

また、エキノコックスに感染したキツネがいると、その周囲の土壌や植物が汚染される可能性があるので、野外活動のあとには、手を洗いましょう。



予防は?

- ・野山に出かけ、帰った時や犬に触れた後などは、流水と石けんで充分に手を洗う。また、衣服や靴についた泥もよく落とす。
- ・山菜や野菜、果実などは、よく洗ってから食べる。沢や川の生水は煮沸してから飲むようにする。
- ・エキノコックスの卵は熱に弱い(100°C1分の加熱で死滅)ため山菜、野菜、果実などは充分に加熱する。
- ・物置などはキツネに侵入されないよう、しっかりと戸締まりをする。
- ・家の周りにエサになる生ゴミ等を置かないようにする。ゴミステーションを管理する。
- ・キツネにエサを与える、触らないようにする。外飼いの犬などのエサを放置しない。
- ・犬は放し飼いをせず、拾い食いをさせないようにする。猫は室内で飼うようにする。
- ・キツネに向かって大きな音を立てて追い払ったり、木酢液などキツネが嫌がるもの撒く。



【記事担当：袴田】